

(4) 廃棄物処理施設

これまでの取り組みと現況・課題

これまで、可燃性ごみの全量焼却に向けて、必要な処理施設の整備を進めてきました。また、ごみの資源化に向けて、さまざまな取り組みを積極的に進めてきました。(P75参照)

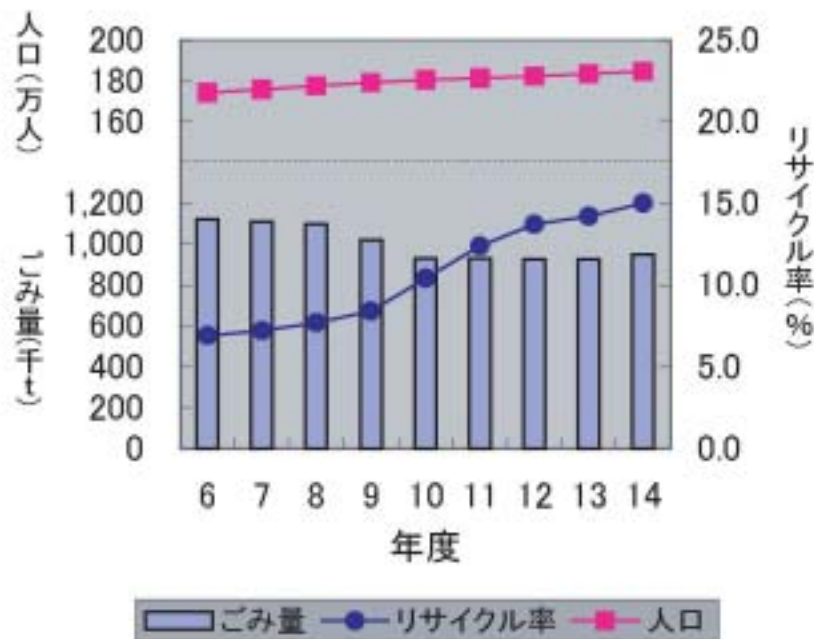
今後も廃棄物処理施設については、ごみ処理に伴う環境負荷の低減や資源循環の観点からの処理体制の確立に重点を置いて、取り組みを推進していく必要があります。また、バイオマス*58の有効活用など新たなリサイクル技術への対応も求められています。

以上の認識に立ち、廃棄物処理施設について以下の方針を定めます。

基本方向（廃棄物処理施設）

- 可能な限り資源物を回収するなど、循環型のごみ処理体制の確立を目指します。
- ごみの処理に当たっては、収集・焼却・埋立のそれぞれの過程で環境に配慮した処理体制を整備していきます。
- 自らの責任で処理することが原則となっている産業廃棄物については、今後さらに排出事業者処理責任を明確にした取り組みを進めます。

■ごみ量とリサイクル率の推移



$$\text{リサイクル率} = \frac{\text{札幌市のリサイクル量}(\ast)}{\text{札幌市が処理するごみ量}(\ast)}$$

〈資料〉札幌市(平成15年)

(※) 集団資源回収量を含む

*58 バイオマス 再生可能な生物由来の有機性資源で、石油などの化石燃料を除いたもの。太陽のエネルギーを使って生物が合成したものであり、生命と太陽がある限り、枯渇しない資源である。

廃棄物系バイオマスには、木くず・紙くず・生ごみ・動物の糞尿・下水汚泥などがある。

取り組みの方向

ア 一般廃棄物の処理

- ・環境保全に万全な対策を講じながら、将来のごみ量に見合った清掃工場，リサイクル施設など，廃棄物処理施設を整備していきます。

イ 産業廃棄物の処理

- ・排出事業者処理責任の原則に基づき，札幌市の処理施設での受け入れを見直すなど民間処理体制への移行に向けた取り組みを進めていきます。また，適正処理の補完的な役割を果たしている札幌市リサイクル団地^{*59}を，排出事業者等に対する啓発拠点として最大限に活用していきます。

***59 札幌市リサイクル団地** 札幌市，第三セクター，民間がそれぞれの役割を担い，建設廃材や廃油，汚泥などの再生処理施設や建設系混合廃棄物の破碎選別処理施設等を建設し，主に企業から発生するごみの減量とリサイクルを推進するための施設。

その他の都市施設にかかわる主要な計画・施策の系譜

	1971（昭和46）長期総合計画	1976（昭和51）新長期総合計画	1988（昭和63）第3次長期総合計画	2000（平成12）第4次長期総合計画
河川	<ul style="list-style-type: none"> ■治水対策の推進 ・河川整備の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ■治水対策の推進 ・河川整備の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ■総合的な治水対策の推進 ・河川整備の推進 ・多目的遊水地建設の推進 ・河川情報システム^{*60}整備の推進 ・親水性に配慮した河川整備の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ■総合的な治水対策の推進 ・河川整備の推進 ・雨水貯留施設整備の推進 ・河川情報システム改修の推進 ■うるおいのある河川環境整備の推進 ・自然性ゆたかな河川整備の推進 ・市民との協働による川づくりの推進
上水道	<ul style="list-style-type: none"> ■将来需要水量に対応する水源の確保 ■施設の拡張整備 	<ul style="list-style-type: none"> ■将来需要水量に対応する水源の確保 ■施設の拡張整備 ■水の有効利用の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ■将来市街地100%普及を目標とした施設整備 ■安定給水の確保 ■安全な水の供給 ■将来水源の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ■災害に強い水道の実現 ・施設の耐震化、応急給水拠点の増設 ■水道システム機能の維持向上 ・老朽施設の改修、配水池の増設 ■環境に調和した整備事業
下水道	<ul style="list-style-type: none"> ■普及促進を重点施策として推進 	<ul style="list-style-type: none"> ■普及促進の継続的実施 ■浸水対策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ■普及促進、浸水対策の継続的実施 ■公共用水域の水質保全の推進 ■雪対策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ■普及促進、浸水対策、水質保全、雪対策継続的実施 ■施設の機能を維持する改築・再構築の推進 ■下水道施設・資源の有効活用
廃棄物処理施設	<ul style="list-style-type: none"> ■可燃性ごみの全量焼却に向けた清掃工場の建設 	<ul style="list-style-type: none"> ■ごみの減量化、資源化の推進 ■清掃工場の建設推進 	<ul style="list-style-type: none"> ■ごみの減量化・資源化の積極的な推進 ■ごみの排出量に対応した清掃工場の整備およびごみ資源化工場の建設 	<ul style="list-style-type: none"> ■ごみの発生抑制とリサイクルの推進 ■環境保全対策を主眼としたより高度な適正処理の確保
	都市の急激な拡大を見通した施設整備の推進	積極的な施設整備の推進	施設の量的確保の達成と、適正な維持管理・有効活用への取り組み	多様な観点のもと、既存施設の質的向上などの施策展開を推進

*60 河川情報システム 河川水位や雨水の情報を速やかに収集することで、大雨時における災害発生を未然に防ぐ水防活動等に活用することを目的としたシステム。